

福岡工業大学附属城東高等学校

生徒会環境委員会

高校生の環境意識改革 ～生徒主体の環境活動～

「学校生活の中で生徒全員に環境に関する意識を根付かせる」ために活動を行っている。ゴミの22分別、地域清掃活動(ラブアースクリーン)、美化チェック、エアコンの温度管理、ゴミの計量、毎日夜8時のライトダウン。



大分県立玖珠美山高等学校

チームflower's

地域とレンゲツツジを繋ぐ架け橋に

県の天然記念物で絶滅危惧種にも指定されている「町花」レンゲツツジ。レンゲツツジの保護・啓発活動の問題を解決するため、生産者さんから昔の様子や栽培等のアドバイスをもらった。人と自然の繋がりを取り戻し、持続可能な地域社会を築く力を育む活動をしている。

大分県立大分東高等学校

リボベジ研究会

見ちよくれ 寄ちよくれ やちよくれ リボベジをゴミ軽減に活かせ!

「リボベジ」とは、リボンベジタブルの略で再生する野菜。食べる部分を再生させるだけでなく、家庭での生ごみを減量しCO₂削減へと繋げる。各種団体の力を借りてエコ活動の啓発活動を行っている。



長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部

農業廃棄物の有効利用法 かぼちゃのゼロ・エミッションへの挑戦

規格外品として処分されるかぼちゃは新しい加工品として、さらに畑を覆い尽くす「蔓」や「葉」などの農業廃棄物は和紙として有効利用を考える。様々な産業界と連携し、かぼちゃ廃棄物「ゼロ」を目指している。



長崎県立諫早農業高等学校

未来農業研究班

食の安定供給を目指して ～植物工場を活用した伝統野菜復活～

温暖化で減少し、国際スローフード協会から最高位「プレシディオ」を受賞した国内唯一の伝統野菜「雲仙こぶ高菜」を植物工場で栽培。農家を訪問し現地調査を行い、良質な雲仙こぶ高菜の栽培に成功した。世界の人々に平等に食糧が行き渡るような世界を作りたい。

長崎県島原農業高等学校

食品加工部

環境保全型農業の確立を目指して ～パッションフルーツと地元資源を用いた商品開発・普及活動～

パッションフルーツを用いたグリーンカーテンを普及させ認知度を高める。更に、焼却処分されている蔓から、「島原温泉水」を利用して日本の伝統的文化でもある「和紙」を作り、地元特産品として開発した。



熊本県立阿蘇中央高等学校

草原再生プロジェクト班

阿蘇の草原を未来へ

熊本地震後に、いち早く被害状況をまとめ、東北の高校生と共に『東北×熊本 復興の輪プロジェクト』を立ち上げた。また、震災が原因で野焼き、輪地切り、輪地焼きが減少する恐れがあるといわれているので、阿蘇の草原の減少に拍車がかからないよう、情報発信に力を入れていく。

熊本県立鹿本農業高等学校

バイオ研究会

熊本の地域資源活用プロジェクト

県内最多の地域資源である竹の有効活用方法を見だし、地域活性化を目標とした活動をしている。ヒラタケのキノコ栽培で、おがくすの代替として竹チップと竹パウダーを利用。また、竹パウダーと米ぬか、廃菌床を混ぜ合わせた竹堆肥を作成した。これからも竹の輪を広げ、地域を元気にする。

鹿児島県立薩南工業高等学校

建築工作同好会

知覧型木材循環システム ～木をもらう→作る→贈る・育てる→～

地元建設会社から産廃として廃棄予定の木材をもらい、製材する。廃材を使って幼稚園、小中学生に木工教室を行い、公共施設や保育園などに木工品を寄贈。「おがくす」は子牛のベッドとして牛の畜産家へ、「木端」は薪割の困難な市民へ提供。予算が必要なくメリットがあるので継続可能な取組。

鹿児島県立錦江湾高等学校

二酸化窒素 & オゾンマップ作成班

反射型吸光度計による二酸化窒素・オゾンマップの作成

安価で簡単に正確に二酸化窒素(NO₂)及びオゾン(O₃)濃度を測定できる簡易反射型吸光度計の開発と、大気汚染物質マップの作成を試みた。結果、正確に測定できることが実験的に証明された。



沖縄県立中部農林高等学校

エコ・リサーチ部

美ら島を守る高校生の挑戦! ～伝統ある蘭草がつなぐ結い～

伝統ある琉球畳の原材料である蘭草の現状調査や、蘭草の植え付けなどを行いながら、ものづくり、知名度の向上など、地元の企業などとの連携を取りながら、蘭草農家が抱える課題について取り組んでいる。



沖縄県立南部農林高等学校

科学部

ソテツデンプンの利用法を考える I

毒があるため放置されているか破棄されているソテツの実からデンプンを取り出し、どのように利用できるかを検討。ソテツデンプンを蒸した後、黒麹菌を培養し、培養後にクエン酸を取り出した。ソテツデンプンの可能性を感じた。

